

平成28年11月11日

定例記者会見 報道資料

東アジア文化都市推進課

電話：0742-27-0120 FAX：0742-27-0121

## 「東アジア文化都市 2016 奈良市」クロージング参加者の募集について

一年間にわたり、さまざまなプログラムを開催してきた「東アジア文化都市2016奈良市」が閉幕を迎えます。そのフィナーレを飾るクロージングを下記のとおり開催します。

### 記

#### 第1部 記念シンポジウム「東アジア文化都市のレガシィとは～明日に遺すべきもの～」

と き…12月26日（月）午後3時～5時半（開場：午後2時半）

ところ…なら100年会館 中ホール（三条宮前町）

定 員…300人

##### ・2016年 東アジア文化都市 各都市の足跡

中国・寧波市、韓国・済州特別自治道、日本・奈良市の各都市代表者がそれぞれの「東アジア文化都市」事業の成果について語る

##### ・パネルディスカッション

佐々木雅幸（同志社大学特別客員教授、「東アジア文化都市 2016 奈良市」実行委員会委員）

太下義之（三菱UFJリサーチ&コンサルティング芸術・文化政策センター

主席研究員／センター長）

北川フラム（「東アジア文化都市 2016 奈良市」アドバイザー）

#### 第2部 式典・クロージングステージ

と き…12月26日（月）午後6時～8時（開場：午後5時半）

ところ…なら100年会館 大ホール（三条宮前町）

定 員…1,000人

##### ・「東アジア文化都市2016奈良市」の1年を振り返るダイジェストムービーを上映

##### ・中国・寧波市の芸能団による芸能の披露

##### ・韓国・済州特別自治道の芸能団による芸能の披露

・「東アジア文化都市 2016 奈良市」に参加したアーティストが出演し、1年を締めくくるフィナーレを彩ります。

出 演…舞太鼓あすか組、奈良楽譜 ほか

### 【申込方法】

① WEB申込 ②はがき ③FAX

②と③については、住所、氏名、年齢、入場希望人数、電話番号、参加ご希望のイベント（第1部、第2部、両方）を書いて12月15日必着で下記まで。

「東アジア文化都市 2016 奈良市」クロージング受付係

〒630-8014 奈良市四条大路一丁目3-45 インパクト株式会社内

TEL : 0742-33-6211 FAX : 0742-33-6441

お申し込み頂いた方には入場証をお送りします。

応募者多数の場合は抽選のうえ入場証の発送をもって発表にかえさせていただきます。

イベントにご参加いただいた方全員に、映像交流プロジェクトのショートムービー3作品や「東アジア文化都市2016奈良市」のダイジェストムービー等を収録した特典DVDをプレゼント。

### 【申込に関する問合せ】

「東アジア文化都市 2016 奈良市」クロージング受付係

〒630-8014 奈良市四条大路一丁目3-45 インパクト株式会社内

TEL : 0742-33-6211 FAX : 0742-33-6441

## 佐々木雅幸（ささき まさゆき）

同志社大学経済学部特別客員教授  
文化庁文化芸術創造都市振興室長  
創造都市ネットワーク日本（CCNJ）顧問  
「東アジア文化都市 2016 奈良市」実行委員会委員



金沢大学経済学部教授、立命館大学政策科学部教授、大阪市立大学大学院創造都市研究科教授・同都市研究プラザ所長を経て、2014年4月より現職。文化審議会文化政策部会委員。主著に「創造都市の経済学」、「創造都市への挑戦」、編著に「創造都市への展望」、「創造都市と社会包摂」、「創造農村」等。日本における創造都市研究の第一人者であり、ユネスコ創造都市ネットワークや東アジア文化都市に関するアドバイザーとして活躍している。

## 太下義之（おおした よしゆき）

三菱UFJリサーチ&コンサルティング、  
芸術・文化政策センター主席研究員／センター長



公益社団法人日展理事、公益財団法人静岡県舞台芸術センター（SPAC）評議員、公益社団法人企業メセナ協議会監事。文化経済学会<日本>理事，文化政策学会理事。コンテンツ学会理事。文化審議会文化政策部会委員、経済産業省「クリエイティブ・エコノミー研究会」委員（2011年度）、総務省「定住自立圏形成に向けた創造的人材の定住・交流促進に係る検討会議」委員（2011年度）。東京芸術文化評議会委員、大阪府・大阪市特別参与、沖縄文化活性化・創造発信支援事業（沖縄版アーツカウンシル）評議員、鶴岡市食文化創造都市アドバイザー、新潟市文化・スポーツコミッションアドバイザー、文化情報の整備と活用「100人委員会」委員、著作権保護期間の延長問題を考えるフォーラム発起人等、文化政策関連の委員を多数兼務。

## 北川フラム

1946年新潟県生まれ。アートディレクター。東京芸術大学美術学部卒業。「アントニオ・ガウディ展」、「ファーレ立川アートプロジェクト」等をプロデュース。「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」（2000年～）、「瀬戸内国際芸術祭」（2010年～）の総合ディレクター。



## 舞太鼓あすか組

ASKA Japanese Drum Troupe

世界を鼓舞する圧巻のエンターテイメント



1990年に結成された日本を代表する和太鼓集団。舞台芸術としての和太鼓を確立し、日本の美と魂を揺さぶる迫力を兼ね備えた、ASKA独自のスタイルは日本及び世界における TAIKO の一つの基準となっている。奈良県を拠点に国内及び世界各地でコンサートを行い、2007年、世界最大の芸術祭イギリス『エジンバラ・フリンジ』での1か月公演は、英国の各メディアより5ツ星の評価を得る。

近年、日本のアーティストとして初のロシアクレムリン大劇場単独公演、そして広大な大陸全てを巡るロシア全土30都市ツアーを成功させた。

鍛え抜かれた精神と肉体より打ち出されるその響きは

『観衆の世代を超えた音楽とパフォーマンスの共通言語がここにある』

『音楽を超越した音の格闘技』

『生命が根底から揺さぶられる一大芸術』

と世界各地で賞賛を受けている。



## 奈良楽譜（ならがくふ）

2016年、国内外で活躍中の奈良在住の演奏家が集結。奈良はシルクロードの終着点、大陸から海を越え伝わり日本独自の発展を遂げた雅楽、シルクロードの出発点で奏でられたアラブ音楽、今奈良で最もポピュラーなピアノ、そこに様々な楽器が融合して、シルクロードの東西と今昔を結ぶ奈良の音・音楽を探求している。



### スティーヴ エトウ 《パーカッション》

1958年L.A.生まれ。父は箏曲家 故・衛藤公雄。弟は和太鼓のレナード衛藤。1964年初来日。80年代よりバンド活動を始め、爆風銃(バップガン)、PINK、PUGSなどのバンドで活動。

### 榊原明子 《ピアノ》

奈良生まれ奈良育ち。3歳より音感教育を受け、6歳よりピアノを始める。神戸大学発達科学部人間行動・表現学科にて音楽を専攻、芸術や心理学も学ぶ。心に浮かぶ情景を描いた自作のピアノ・ソロを中心に、日本伝統音楽とのコラボレーションや即興演奏を得意とする異色のピアニスト・作曲家として活動。2016年に立ち上げた奈良の音・文化を探求する団体「ピアノで奈良を奏でる会」代表。

### 増田真吾 《カヌーン》

2009年、エジプトにてカーヌーンの演奏を始め、その後もエジプト、トルコ、チュニジアで学ぶ。2010年にWind of Orientを結成し、シルクロードの終着点である日本から新しいサウンドを世界へ送り出すべく、

精力的に活動中。

#### 伊藤えり《笙》

東京芸術大学音楽学部楽理科卒。多忠麿、芝祐靖、多忠輝、松井北斗、宮田まゆみの各氏に師事。86年より宮内庁楽師および民間の演奏家からなる雅楽演奏団体「東京楽所」に参加。長年、古典の雅楽の演奏に注力してきたが、笙の古典調律の響きを活かした即興演奏に魅力を感じ、ピアノ、ハープ、中国琵琶、中国の笙、薩摩琵琶、チェロ、リードオルガン、二胡、書、墨絵パフォーマンスなどジャンルを問わず、様々なジャンルのミュージシャンやアートとコラボレーションを重ねる。

#### 出口 煌玲《龍笛》

幼少より奈良春日・南都楽所にて古典雅楽を学び、その一員として各地で演奏する。雅楽演奏家と異分野の演奏家からなるコラボレーションユニット「音楽舎 まほら」、横笛の魅力に焦点を当てたカルテット「煌玲ユニット」をはじめ、様々なユニットを主宰。ソリストや音楽監督としてもヨーロッパやアジア各国で、世界の伝統音楽・現代音楽・演劇・舞踏などと、あらゆる分野で国境を超えたコラボレーションや創作活動を行っている。演奏技術やその基盤となる身体運用メソッドを独自に開発、後進の育成に努め、プロ奏者から初心者まで指導にも力を注いでいる。